

すこやかガイド

● 高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種

接種期間 10月15日(火)～令和7年1月31日(金)

実施場所 海部地区(大治町・津島市・愛西市・弥富市・あま市・蟹江町・飛島村)の指定医療機関

対象 本町に住民登録があり、次の条件のいずれかにあてはまる方

① 65歳以上の方

② 60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害(いずれも身体障害者手帳1級相当の障害)を有する方

※対象②にあてはまる方は、疾病の程度を証明できるもの(身体障害者手帳等)を持参の上、接種前に保健センターへ申し込みが必要です。

接種料金 4,000円

接種回数 年1回

接種方法 ・指定医療機関で接種を希望する方は、事前に医療機関へ予約し、接種料金、本人確認書類(健康保険証、マイナ保険証、身体障害者手帳など)を持参の上、接種期間内に接種してください。

・海部地区の指定医療機関以外で接種を希望する方は、保健センターへお問合せください。愛知県広域予防接種事業等の申請が必要になる場合があります。(手続きの処理に2週間程度必要です)

※対象の方に対し、予診票の送付はありません。医療機関に備え付けの予診票を使用します。

※定期予防接種の対象外の方または対象者であっても接種期間外に接種した方は、任意接種(全額自己負担)となります。

申請・問合せ先 保健センター健康館すこやかおおはる ☎(444)2714

● スクエアステップリーダー主催 スクエアステップ教室

申込制

スクエアステップは、マット上でステップを踏む運動です。体力づくり、転倒予防、脳機能の活性化に効果があると言われていています。ぜひ、ご参加ください。

とき 11月28日(木) 午後2時～3時30分 (受付時間 午後1時50分)

ところ 保健センター健康館すこやかおおはる

対象 町内在住の方

定員 30名

持ち物 タオル、飲み物、動きやすい服装、室内シューズ

申込期限 11月27日(水)

申込・問合せ先 保健センター健康館すこやかおおはる

☎(444)2714



● 保健推進員主催 町内ウォーキング
第6回 ~お寺めぐりコース~

とき 11月12日(火) 午前9時~10時30分
※雨天中止

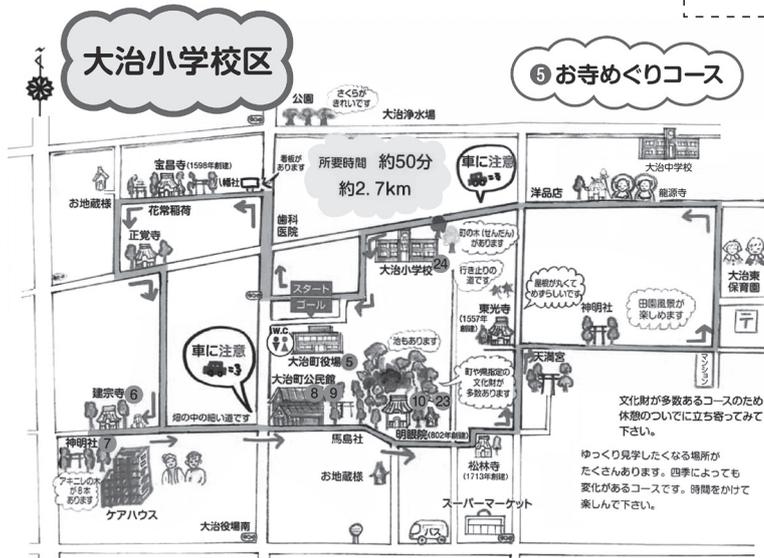
集合場所 公民館
※お車でのお越しはご遠慮ください。

第7回
~新川沿いを歩くゆったりコース~

とき 12月3日(火) 午前9時~10時30分
※雨天中止

集合場所 ハツ屋防災コミュニティセンター
※お車でのお越しはご遠慮ください。

申込制



対象 町内在住の方
※小学生以下の方は保護者が同伴してください。

参加費 100円 (本年度に初めて参加する方のみ)

持ち物 タオル、帽子、動きやすい服装、飲み物 (必ず持参してください。)

申込・問合せ先 保健センター健康館すこやかおおはる ☎(444)2714

● 若い頃からの生活習慣病予防が大事

日頃から自分の「生活習慣」を意識していますか?生活習慣の乱れが積み重なると若い頃から生活習慣病になる危険があります。

20~30歳代の若い人でもメタボや脂質異常などの生活習慣病予備軍の人が多くいます。生活習慣病には次のような病気があります。

- ・高血圧症
- ・糖尿病
- ・動脈硬化
- ・痛風
- ・脂質異常症
- ・メタボリックシンドローム
- ・脂肪肝

これらの生活習慣病は、病名のとおり、生活の習慣によって起こる病気です。適度な運動や食生活の改善によって、予防できたり、進行を遅らせたりすることができます。生活習慣病は症状として現れないため、一年に一回は健診を受けて自分の生活習慣を振り返りましょう。

30歳以上の国民健康保険加入者の方や後期高齢の方は、人間ドック・脳ドックの受診費用の一部(上限1万円)を助成します。

問合せ先 役場 保険医療課 内線144・170

母子保健事業

- 持ち物 母子健康手帳(必須)
- 会場は保健センターです。
- 保健センターでの飲食はできません。あらかじめ済ませて来所してください。

予 予約制

名称	対象	とき	受付時間
母子健康手帳の交付	妊娠した方	毎週火曜日	午前9時～10時30分
	※他の曜日・時間をご希望の方はご相談ください。 【持ち物】①妊娠届出書 ②本人確認書類 ③マイナンバーの分かるもの ④通帳やキャッシュカード等妊婦本人の振込先が分かるもの(旧姓不可)		
妊婦・乳幼児相談	妊娠した方・乳幼児	毎週火曜日	午前9時30分～11時
	※身体計測のみ希望の方は予約不要		
母乳相談	妊娠・授乳している方	11月12・26日(火)	午前9時～11時
栄養相談	乳幼児とその家族	11月5日・12月3日(火)	午前9時～11時
ことばの相談	幼児	11月13・27日(水)	午後1時30分～3時30分
前期離乳食教室	4～6ヵ月頃の乳児とその家族	12月5日(木)	午前10時～10時10分
後期離乳食教室	8～11ヵ月頃の乳児とその家族	12月6日(金)	午前10時～10時10分
産後ケア事業 (短期入所型・居宅訪問型)	育児支援を必要とする母子	産後1年まで	
	お母さんの心身のケアや、授乳指導、育児相談等が受けられます。詳しくは、お問合せください。 【短期入所型】産科医療機関に宿泊 【居宅訪問型】居宅に助産師等が訪問		
発達相談	幼児	11月26日(火)	①午前9時10分～②午前11時～

歯科保健事業

保健センター 保健センターで実施(要事前予約)

医療機関 医療機関で実施(要事前予約 指定歯科医療機関)

事業名	対象	とき
歯みがき 相談	乳幼児および成人	11月12・26日(火)
	【持ち物】使用中の歯ブラシ、母子健康手帳(乳幼児)	【受付時間】午前9時～11時
6歳臼歯 保護育成事業	満6歳から、小学3年生に該当する年度末まで ※町に住民登録のある方のみ	随時
	【申込方法】保健センターへお申し込みください。(郵送可)	
妊産婦 歯科健康診査	妊娠中および産後1年未満の方 ※町に住民登録のある方のみ(歯科治療中の方を除く)	随時
歯周病健診	21・31・41・51・61・71歳の方(令和7年3月末時点) ※町に住民登録のある方のみ(歯科治療中の方を除く)	随時

成人保健事業

- 会場は保健センターです。

予 予約制

事業名	対象	とき	受付時間
成人健康相談	成人	毎週火曜日	午前9時30分～11時
禁煙相談	たばこをやめたいと思っている方	毎週火曜日	午前9時30分～11時
栄養相談	成人	11月5日・12月3日(火)	午前9時～11時
心の健康相談	心の悩みのある方やその家族等	毎週火曜日	午前9時30分～11時
	※医療機関に相談している方を除く		

がん検診・健康診査	「集団検診」および「個別検診」を実施します。 詳細については、町ホームページをご確認ください。	
-----------	--	---

予防接種

- 接種時の持ち物 母子健康手帳・予診票・本人確認書類（マイナ保険証、健康保険証等）
- 接種回数、間隔等詳しくは町ホームページをご確認ください。



- 予防接種の予診票が手元がない方は、母子健康手帳を持って、保健センターへお越しください。（母子健康手帳または接種歴がわかるものをお持ちでない場合、予診票を交付することはできませんので、ご了承ください。）
- 海部地区（大治町・津島市・愛西市・弥富市・あま市・蟹江町・飛島村）指定医療機関で接種してください。
- 長期にわたり療養を必要とする疾病にかかった方等の定期接種の機会を確保する制度があります。詳しくは保健センターへお問合せください。（ロタ、インフルエンザは除く）

ワクチンの種類(定期・大人)	対象	接種期限等
高齢者肺炎球菌	接種日に満65歳以上の方	対象の方には65歳の誕生日を迎えた翌月に予診票を郵送しています。予診票を持参の上、海部地区の指定医療機関で接種してください。接種料金：2,000円（生活保護世帯は無料）
高齢者インフルエンザ		接種期間：10月15日（火）～令和7年1月31日（金） 接種料金：1,200円（生活保護世帯は無料） 予診票は海部地区の指定医療機関にあります。
高齢者新型コロナウイルス感染症		接種期間：10月15日（火）～令和7年1月31日（金） 接種料金：4,000円（生活保護世帯は無料） 予診票は海部地区の指定医療機関にあります。

- 接種日に満60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害を有する方は保健センターへお問合せください。
- 生活保護世帯の方は、接種前に申請が必要です。保健センターへお問合せください。

愛知県広域予防接種事業について

海部地区の指定医療機関以外の医療機関（愛知県内）で定期予防接種が受けられます。接種前に申請が必要になりますので、詳細については保健センターへお問合せください。広域予防接種連絡票の発行に2週間ほどかかります。



問合せ先 保健センター健康館すこやかおおはる ☎(444)2714

歯の健康講座

海部歯科医師会

ロミの悩み

皆さんは、レストランを探す際にロミをどのくらい重視しますか。そのほかのお店ではいかがでしょうか。

今はリアルなロミだけでは得られない皆さんの情報をインターネット上で得られます。流行語になったインスタ映えにあるように、食べ物や観光地などは肯定的にも投稿意欲が起きます。

しかし歯科をはじめ医療はごつごつでしょう。無難に痛くなく治療が終わって当たり前、痛みや不快があったときの方が投稿の気持ち上がる分野なのです。例えば歯を抜いてあまり痛くなく済んだ場合、積極的に言い広めることはしませんが、痛み腫れが強かったときは、大変だったと知人や友人に話したくなります。

今年4月、ロミで事実と異なる内容や、理由を付けない最低評価といった投稿が繰り返され、削除を依頼しても対応してもらえないなどとして、医師ら63の個人と団体がアメリカのグーグルに対し、損害賠償を求める訴えを東京地方裁判所に起こしました。

中には医院側に問題あり…と言う場合もあるかもしれませんが、ロミした方が一方的な誤解曲解思い込みであることも多く見られます。返信する機能はあるものの、ウェブ上では守秘義務の問題や、文面が曖昧で不満を解くまでを書くことが多いです。

よって医療機関の評価は概してマイナスに傾きやすいのです。しかし逆にたくさんの良い投稿がある医療機関もあります。診療所程度の規模であるのに100件以上の良いロミが短い期間に投稿されている場合も見かけます。自然に任せただけの場合、医院への能動的なロミは多くはありません。マイナス投稿が少しあるくらいが普通です。飲食店などで、投稿してくれたら〇%off券サービスとつた場合と同じで、お願いして書いてもらっている可能性があります。決して捏造やサクラではないものの、外部から客観的に判断するには疑問が残ります。

なかなか難しい問題です。医院選びは単純に判断せずよく考える必要があるでしょう。